

(1月7日)：銀行株が相場全体を押し上げ

ベトナム株は反発。銀行株が相場を牽引した。

ホーチミン取引所のVN指数は0.32%上昇し958.88ポイントで取引を終えた。

出来高は1億8160万株で売買代金にして3.7兆ドンほどであった。

同指数は0.97%安の955.79ポイントで月曜日の取引を終えていた。

161銘柄が下落し169銘柄が上昇した。57銘柄は変わらずだった。

サイゴンハノイ証券によると、火曜日の流動性は低い水準で、テト前のため投資家の消極的な動きは続く予想される。

本日のVN指数は950-970ポイントのレンジで上下するだろうと同社は予想した。

銀行株は上昇し指数を支えた。ベトナム投資開発銀行(BID)(2%)、ベトナムバンク(VCB)(+0.3%)、テクコムバンク(TCB)(+0.7%)、ベティンバンク(CTG)(+1.6%)などが上昇した。

その他、ビンホームズ(VHM)(+0.5%)、ビナミルク(VNM)(+0.9%)、ビンググループ(VIC)(+0.2%)、ビンコムリテール(VRE)(+0.9%)、マッサングループ(MSN)(+0.4%)、サイゴンビール(SAB)(+0.1%)などの大型株が上昇した。

石油ガスセクターは直近2営業日上昇したため、反落。ペトロベトナムテクニカルサービス(PVS)(-1.1%)、PVパワー(POW)(-0.9%)、ペトロベトナムドリリング(PVD)(-1.3%)、ビンソン製油石化(BSR)(-1.2%)、ペトロベトナム建設(PVC)(-2.9%)などが下落した。

セクターごとでは25セクターの内の10セクターが下落、ヘルスケア、石油ガス、農業、プラスチック化学、運輸などであった。

反対に、卸売り、保険、不動産、証券、IT、小売、銀行などは上昇した。

ハノイ取引所のHNX指数は0.18%上昇し101.42ポイントで取引を終えた。

出来高は2930万株、売買代金にして2756億ドンであった。

HOSE での外国人投資家の売り越しは 602 億ドン、VCB、HPG、PLX などを売り越した。ハノイ取引所でも 76 億ドンほど売り越した。

バオベト証券によると、VN 指数は 961-963 ポイントの抵抗線に向かうと予想される。

指数は 953-963 ポイントのレンジで揉みあうだろうと予想した。セクターによってまちまちの動きになるだろうとのことだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。